

## IoT 大学連携講座で現場実装を支援

【キーワード】IoT、情報通信、インターネット、生産性向上、見える化

【はじめに】

静岡県では県内中小企業へのIoT導入を支援するため、令和2年度からIoT大学連携講座を開催しています。この講座は、静岡大学情報学部 峰野博史教授が監修を務め、座学⇒実習⇒現場実装⇒成果発表会という一連の流れで、実際の現場へのIoT導入を体験することができます。

当該講座は、静岡大学がIoT技術に関する講演を、工業技術研究所と静岡県IoT導入推進コンソーシアム（事務局：静岡県産業振興財団）のアドバイザーが実習及び現場実装を行う、約2ヶ月半の講座となっています。これまでに6回開催し、受講企業43社の内、約7割がIoT導入による機器の稼働状況や工場内の温湿度監視等を実現しました。

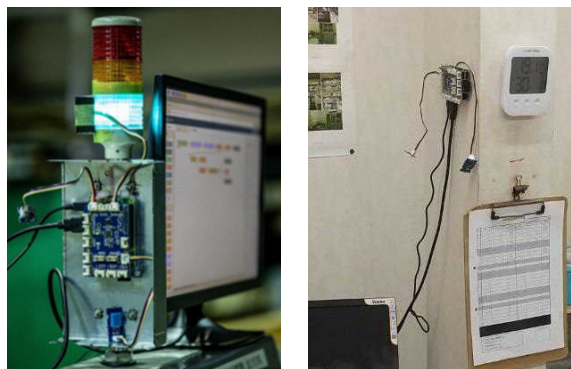
【IoT大学連携講座の概要】

まず、教育用途として開発されたシングルボードコンピュータの「Raspberry Pi」、センサ類との接続が容易な「Grove Base Hat」（図1）、初心者でも簡単に機器の制御やデータ処理が可能なビジュアルプログラミングツールの「Node-RED」を機材に使用し、機器のセットアップからセンサデータのグラフ化や保存方法についての実習を行います。実習後は、機材を持ち帰り、IoTアドバイザーや工業技術研究所職員による伴走型のサポートを受けながら、実際の現場で抱える課題を解決するためのIoT実装に取り組み、効果を検証します（図2）。成果発表会では、参加者が検証結果を発表します。発表の場で成果事例を共有することで、IoT活用のアイデアを広げることを目指しています。

今年度は、6月に静岡、8月に浜松で既に開催しており、11月29日に沼津での開催を予定しています。今後の募集案内については、静岡県産業振興財団のホームページに掲載しますので、是非御参加ください。



図1 実習で使用する教材

図2 現場実装の例  
(左:パトライトの点灯監視 右:実験室の温度監視)